

(新)クリーンアジア実現のための東アジア大気汚染防止戦略検討調査費

80百万円(0百万円)

地球環境局環境保全対策課

1. 事業の概要

近年、東アジア地域においては、温室効果ガス及び大気汚染物質の排出量が急増しているが、排出目録等の基礎情報が不足しており、科学的知見に基づく効果的な大気汚染防止政策の立案が困難だけでなく、京都議定書の2013年以降の実効ある枠組みの構築にも支障となっている。

このため、温暖化対策も含むコベネフィットの観点から、東アジア地域の包括的な大気汚染防止に関する政策枠組みを戦略的に検討する。

(1) 東アジア大気汚染防止政策枠組みの検討

排出現況や汚染物質削減シナリオ等の科学的知見を踏まえ、東アジア地域の大気汚染を防止する枠組みについて検討する。

(2) 東アジア大気汚染排出現況調査

東アジア各国における大気汚染排出状況について、各国政府と協働で調査を実施する。

2. 事業計画

項目	21年度	22年度	23～25年度
①政策枠組みの検討			→
②大気汚染排出現況調査			→
③パイロットスタディの実施			→

3. 施策の効果

汚染物質削減目標やその道筋等の大気汚染防止政策オプションを提示し、東アジア諸国の大気管理能力の向上を図り、東アジア首脳会議環境大臣会合等へのインプットを行い、クリーンアジアの実現を推進する。

クリーンアジア実現のための 東アジア大気汚染防止戦略検討調査費

科学的な裏付け

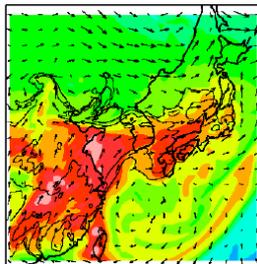
クリーンアジアイニシアティブの具現化

東アジア越境大気汚染削減戦略 の策定・普及

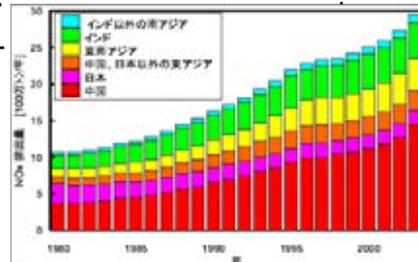
- ・東アジア大気汚染防止政策枠組みの検討
- ・東アジア大気汚染排出現況調査
- ・パイロットスタディ(対象国における戦略の具体化)

【地球環境研究総合推進費等による研究】

- ・シミュレーションモデルを活用した越境汚染の寄与度や将来影響の解明
- ・排出インベントリの精度向上
- ・効果的な東アジア大気汚染物質削減シナリオの将来推計



広域的なオゾン汚染



アジアのNOx排出量の増加予測

東アジア諸国への展開

- ・大気汚染物質と温室効果ガスを同時に削減するコベネフィット型プロジェクトへの反映
- ・東アジア首脳会議環境大臣会合へのインプット等